

サトユミアシゴミムシダマシ (*Promethis valgipes valgipes*) に関する知見

東 輝弥¹⁾

1. はじめに

自宅のすぐ隣にクスノキの枯れた立木が有り, この立木は4年ほど前に大きくなりすぎて近隣から苦情が出たために取り除かれる事となり高さ3m程残り取り除かれた. 今は樹皮は剥がれた状態で立っている. (写真1.) そこに表題のサトユミアシゴミムシダマシが棲息している「別名ユミアシオオゴミムシダマシ」. (写真2.)

ごく普通の虫であるが里山とか森で無く住宅地にあるクスノキの枯れ木に棲息している. 棲息状況について報告例が無いようなので参考のためになると思うので報告しておく.

2. 目撃した日時と頭数

年月日	観察した時間	頭数	年月日	観察した時間	頭数
2022/07/13	19:48	2exs.	2023/10/18	19:05	2exs.
2022/07/16	20:03	2exs.	2023/10/30	19:13	2exs.
2022/07/31	19:56	2exs.	2023/11/02	21:08	2exs.
2022/08/26	19:19	2exs.	2023/11/04	19:38	2exs.
2023/06/21	19:44	3exs.	2023/11/06	20:05	2exs.
2023/06/22	10:22	3exs.	2023/11/07	18:56	2exs.
2023/06/25	20:25	3exs.	2023/11/07	21:45	2exs.
2023/09/29	20:29	3exs.	2023/11/09	20:07	4exs.
2023/09/30	21:16	3exs.			



写真1. 棲息している枯れ木.



写真2. 本種.

3. 考察

成虫の雄雌は採集していないので不明. 活動は日没から少過ぎて辺りが暗くなってから姿を現し朽ち木の表面に着いているカビとかコケを摂食しているようである. (写真3.) 日中の棲息場所は朽ち木の割れ目とか枯れた樹皮の下に潜んでいるようである. (写真4.) 高砂市の市ノ池公園の観察ではカブトムシやクワガタムシのいる樹液の出る半朽ち木の中に生息している. ここでは樹林の中などで薄暗いために日中にでも観察することが出来る. 図鑑では4月から11月まで活動するようであるが成虫越冬するとは書かれていないので不明であるが, 6月から9月まで3頭であったのが10月から2頭

になり11月9日に4頭になっているので, ここで幼虫が羽化して増えたものと思うので本種は成虫越冬するように思う. 11月10日は雨のため姿を見せず, 以後気温が下がったために姿を見ることが出来なかった. 次年度(2024)では成虫の出現時刻と退避時間等を観察してみたいと思う.

本種は通常, 林の中にある半朽ち木の中で棲息していて住宅地でしかも独立した朽ち木に棲息してる. 最も近い棲息地は阿弥陀町にある市ノ池公園で途中で生息できるような場所はない. だがこの場所にいるのであれば途中で似たような環境があれば棲息している可能性がある. 本種は普通種であるがためか生態は調べられていないようだが, 移動性のある種である可能性がある.

本種が枯木の表面に顕れる時間は19時ぐらいから翌

¹⁾ Teruya AZUMA 兵庫県高砂市

日の4時くらいまで居るようだ。季節によって出現時間は違ってくると思うが日没の少し後から日の出までが活動時間帯と思われる

図鑑に因れば、近畿地方では4月から出現するようなので、来年は立木が残って居たら4月から観察したいと思う。

近似種のおオユミアシゴミムシダマシ (*Promethos insomnia*) は図鑑では北海道から本州に棲息していて4月から8月頃迄見られるようだが、本種は本州から沖縄方面まで棲息していて4月から10月頃まで見られると書いてあるのでサトユミアシゴミムシダマシとした。

4. 参考文献

虫ナビ https://mushinavi.com/navi-insect/data-gomimusi_yumiasi.htm

昆虫エクスプローラ <https://www.insects.jp/kongomidamasiyumi.htm>

槐 真史 (編), 2013. 日本の昆虫 1400 (2) トンボ・コウチュウ・ハチ. 文一総合出版.



写真3. 食事中



写真4. 樹皮の中に退避